

分 野 : Ⅲ 気管支ぜん息等の動向等に関する調査研究
 ② 指定地域を対象とした気管支ぜん息等の予後と併存症(鼻炎・肥満等のぜん息増悪の危険因子)に関する調査研究
 Ⅲ-②
 業 務 委 託 名 : 指定地域を含む地域を対象としたぜん息患者数の実数把握と予後や併存症に関する調査研究

調査研究代表者氏名: 手塚 純一郎

1 評価項目						
5点:大変優れている(A判定) 4点:優れている(B判定) 3点:普通(C判定) 2点:やや劣っている(D判定) 1点:劣っている(E判定)						
	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(2) 研究成果目標の達成度	0人	4人	2人	0人	0人	3.67
(3) 研究計画の妥当性	1人	5人	0人	0人	0人	4.17
個別評価(第3評価):(2)(3)の平均						3.92
(6) 総合評価(第2評価)	2人	4人	0人	0人	0人	4.33
全体評価(第1評価):(2)(3)(6)の平均						4.06

2 記述評価
・新型コロナの影響を十分に検討することが重要である。 2032年に予定される西日本疫学調査の準備に何が必要かを検討する資料となりうる研究である。 ・小児科領域で神経発達を併存症として調査する背景をより明確にして欲しい。成人のbig dataが最大限に生かされてより分析が進むことを期待している。 ・重要な調査研究であり、今後、順調に研究が進展することを期待する。 ・継続する重要な研究である。 ・環境保健の本プロジェクトにおける重要な研究であり、今日的に内容等拡大していることも評価したい。 ・ビッグデータ解析を用いた成人気管支喘息患者有病率の検討は、将来的にも継続可能と思われる。 ・順調に研究が進捗していると評価できる。 種々の調査手法・データソースを活用して、喘息・アレルギー疾患の有病率等の動向についての信頼できる成果が得られることを期待する。